

2017年7月29日  
名進研学園・名進研小学校  
日本言語技術教育学会  
第27回愛知大会  
アンケート

- 注1 参加者157人、アンケート40枚。  
1～40の番号をつけ項目ごとに表示  
しました。
- 注2 表記は明らかな誤字を修正した他  
は、記述通り。

【授業Ⅰ 文学「スイミー」の提案授業とそ  
の検討】

(1) 授業Ⅰ(授業者:岩下 修)

- 1 私は現在小2担任をしており、6月頃にち  
ょうどスイミーを扱ったばかりで、岩下先生の  
授業を見せて頂き、自分の授業とフィードバック  
しながら見ることができました。まだ教員2  
年目なので意見をもつほどの技量はないのです  
が、今日の授業を見させて頂き、名進研さんは  
言語技術を「学ぶ」という表現よりも「鍛える」  
という様子を感じました。私立ということもあり、  
ある程度学力が一定化された環境だからこそ  
できることもあると思います。私も私立に勤  
めており、今日の授業の子どもたちの様子もと  
ても似ている部分があったので、2学期から「鍛  
える」指導も行ってみたいと思いました。今日  
のような言語技術を定着させ、そこからさらに  
自分たちで試行錯誤しながら思考力を深めてい  
く授業がしたいと思いました。とても勉強にな  
りました。ありがとうございます。
- 2 子供の知的好奇心を引き出す技術がすばら  
しい。
- 3 発問が精選され授業全体のリズムが良いこ  
とで学ぶ姿勢が児童に身につけているのは指導  
者の手立てが適切であるからと思い良い勉強に  
なりました。
- 4 子どもたちの一つ一つの意見を大切にしてい  
らっしゃる点や文章にでてくる語句一つ一つ  
を大切にしていらっしゃる点はとても勉強にな  
りました。
- 5 大会テーマが「言語技術が見える授業づく  
り」であった。授業では複数の言語技術が確か  
に見えた。しかし、問答が続き単調に感じた。  
対比を変化のある繰り返して使うにしても、た

例えばミニ討論のような場面を組み込むなど、  
技術が優れた実践を支えている事実を見たかつ  
た。技術は見えたが、技術を小さく使う場面と  
大きく使う場面も見えた。

6 テンポが早く子ども達もきちんとついて  
いっていません。途中でだれることもなく、子  
ども達の言葉をつないで発問する技術を学びま  
した。最後の「だい」をつけるということは、  
毎回あのように早くやってしまうのですか。  
子どもに考えさせたいところですね。(30  
分という制限があるから。)

7 子どもの育った姿がとてもすてきでした。  
全体として単調で滝のように流れ、全体として  
どこまで学びとなったかは疑問でした。山場と  
して考えていらっしゃるところはあったのでし  
ょうか? それはどこだったのでしょうか?  
もっともっと話し合ったり意見を検討し合える  
場面もあって良かったと個人的には思います。  
授業公開のための授業であって、子どものため  
の授業ではなかったのが非常に残念でした。お  
つかれさまでした。

8 ○発問の技術―何を、どう問うのか―技術  
がよく整理されていて勉強になりました。○発  
問をもう少ししぼってテンポよく授業を進めた  
方がいいと感じました。○場面に名付けをした  
ことはよいと思いました。

9 情景から心情を読み解く過程に音読が効果  
的に生かされていると思いました。☆「間」を  
考える授業(人物の気持ちの変化)も参観させ  
て頂きたいと思いました。

10 岩下先生の授業が参観できるので、とて  
も楽しみにしてきました。音読のスピード、授  
業の発問、指示のスピード、声の大きさ・よくよ  
うも実際に聞いたことで、本と違い学ぶことが  
多くありました。

11 児童がスラスラ暗唱できるほど、音読が徹  
底しており、参考になった。児童が取り上げた  
文節、文章を繰り返し読ませることで、大切な  
部分を意識させていることがよくわかった。授  
業のめあて、板書が分かりにくかった。発問の  
仕方を細かく分けて整理するのはよいが、児童  
の言語技術よりは、教員の言語技術のように感  
じた。また、選択肢の絞り方は文章にかかわる  
ところ(さし絵以外)がよいと思った。

13 発問が多すぎて本時はどんな力をつけたい  
のかがよくわからなかったです。発問の吟味が  
必要だと思います。

15 物語文から、①語り手はだれか、だれから

見ておそろしいのか。②数と言葉に注目して言い換え（言葉の意味のおさえ）、③色の対比、④悲しさの度合（選択肢）を意識できるように進められていると感じました。提案授業ありがとうございました。

17 言語技術が見える授業であった。絵で読み取らせることも私自身は良いと思う。なぜかという、絵から読み取ることも大きな言語技術であるからである。それが高学年になるにつれてうすれていく現状は変えていく必要があると思う。

18 岩下先生の授業が見られるのを今日一番の楽しみにしてきました。とても学びの多い時間でした。小さなことに気づいてたくさんほめたり、小まめに全体で音読する場面を設けたり、自分がやろうとしつつも徹底できていない事をキッチリされていて、すごかったです。叙述への注目のさせ方、勉強になりました。資料からも何をどのように、いつ問うのかについて深く考えておられることが分かり、自分の研究不足が痛感されました。

19 音読や発問がとても勉強になった。しかし、公立校では学力の差も大きく、今回のスピードの授業について来れない児童もいるのではないかと思う。そういう子に対しての授業も見てみたい。

20 学級と授業づくりの不可分を感じた。岩下先生と子どもたちのつながりが見られた。先生の身体を使った表現力がすごいと思った。後半になるにつれ、子どもたちの声が大きすぎると思った。子どもたちの身体表現はどうか？

21 岩下先生の子どもの相手の授業を見ることができ、とても勉強になりました。

22 授業のスピード感と児童たちが口を開く量、回数の多さに大変学びを感じました。先生にはピンマイクを使って欲しかったです。発問が聞き取りずらかったです。児童の意見も聞き取れないところがあり、残念なところもありました。「〇〇のように」と「□□のように」はどう違うのか？ という質問でそれを説明するよう言葉を駆使する所に言語技術が育つと思いました。

23 「とても」は読み流してしまいそうところだが、きちんと子どもたちがとらえ、頭の中ではスイミーがこわかった、さみしかった様子をイメージしていたと思います。多くの発問が流れるようにされていたのが私はよかったと思います。

25 ルールが徹底され、児童も積極的であれば良かった。授業計画が綿密ですごく考えられていると思った。多動や集中を欠く児童への配慮はスピード感、グループでの共有だったのでしょうか。3つ、2つと意見の数を限定せず、児童の豊かな考えもきいてみたかった。

26 音読が効果的に取り入れられていた。文章読解の基本はやはり音読だと思った。

29 「スイミーだけ逃げることができたのはなぜか」という問いに対して、「下に逃げられたから」という答えの直後、「反対です」と言った児童（最前列左側）が何を根拠に「反対」したのか知りたかった。岩下先生が「ちょっとまって」と止めたあと、そのまま流れてしまったのが残念でした。

30 児童の授業規律がしっかりしていてすごいと思いました。文だけではわからないようなまぐろの大きさをホワイトボードや手で表し、視覚化していいと思いました。後ろの方に座っていたので少し声が聞きずらかったのが残念です。理由を三つや二つ指定していたのが、他にあるのではと思いましたが、児童は考えやすいのかなと思いました。

31 数多くの言語事項、指導技術がぎっしり詰まった30分間でした。子ども達が「意見があります」と言うときと、言わないときがありました。「抜き出し」なのか、「意見なのか」を2年生が区別できていることに驚きました。これまで学び合ってきた経験があるからこそその視座だと思いました。

32 一つ一つの言葉にこだわって授業されているため、子どもたちも言葉に敏感だということがわかりました。根拠を教科書からさがすということの大切さも改めて痛感しました。何よりも子ども達が生き生きと活動する姿に感動しました。

33 子ども達が音読に慣れていて、文を読むことが上手だと感じた。最後に題をつけることで要約に慣れていけるだろうと感じた。

34 岩下先生のテンポの良い授業進行に、脳が活性化、引き込まれていきました。問うことで、書かれている内容が深く理解できました。教師がいかにか素材研究、教材研究をするかが大切だと学びました。ありがとうございました。

35 二三度呼んでキーワードを確認したら読み進めてしまう本文を述部に着目させてたたみかけるように問い、イメージを具体化・共有化することで、みんながそろって本時のステップを

のぼったように感じました。

36 短時間に適確な発問だった。が、この1時間を読み進めていくためのテーマがあると、よかったのではないかと思った。

37 すらすら音読のスピードに驚き、すばらしかった。

38 作品の設定を明らかにしながらリズムよく進んでいました。必然性、「ロケット」と「ミサイル」では何が違うのか、「かなしかった」と「とてもかなしかった」では何が違うのか、作品に作者が込めたく思っている一番重要な部分に授業が構成されているように感じた。

39 岩下先生の教材研究の深さがすばらしかった。他の二つと比較して。

40 子供たちがのびのびと授業に参加していた。次々と発問されても、どんどん考えている姿におどろいた。あんなに速い展開でも、児童の思考がついていったので、日ごろからの学習もすばらしいであろうと感じた。

## (2) 提案授業の検討

(司会：柳谷直明、授業者：岩下修、登壇者：佐藤康子、高橋秀一、長谷川祥子)

8 登壇者の方の言語技術がすばらしかったです。長谷川氏、高梁市のお話がとても勉強になりました。

9 発問に対する問い方の組み合わせで授業の展開が変わると思いました。子どもが思考しなくなる問い(しかけ)、文に戻って考える技術が組み合わせられていたと思います。

13 「さし絵」は文章や言葉からイメージをもつことが苦手な子にとって有効なものだと思います。本時の「スイミー」では、自分だけ黒色、海の底のきれいな魚たち、最後の場面の大きな魚のしっぽ等、また2年生の「お手紙」でも、はじめ、終わりの場面の対比による登場人物の変容をとらえるのに効果的でした。

14 授業技術の基本的な内容も率直に質問に出てきてとても参考になりました。

16 質疑応答、もっと時間があって、聞いたことに答えて頂けたらよかったです。

17 比喩が「どこが似ているのか」という発問で、今後の比喩表現の指導の基にするという考え方は、非常にこわいと思う。比喩というのは、なくてもいい表現である。しかし、使って表現している。その使われているということの重要性が意識できない指導は比喩の指導にならないと思う。その点で、岩下先生の授業では比喩が

あった場合となかった場合にわけていたので、すばらしい言語技術指導であったと思う。

18 登壇者の皆さんや質問者の方のお話を聞いて新たな発見が多くありました。質問にも答えて頂き有難かったです。音読のさせ方・さし絵の扱いについて意見が分かれていて様々な考え方があることを知った上で、自分の考えをしっかりと持っていかなければならないと思いました。

19 若手の人はこの発問にしたらいいと思うなどの話もあり、若手としては勉強になった。若手も多く来ていると思うので、こういう話ももっとあると若手の勉強になると思う。

20 検討は議論が拡散しすぎて時間が足りなかった。さし絵を読む力は大切だと思う。

22 奥が深いのだな…と感じました。会場からの質問が自分に共感したものが多かったのも、それを岩下先生がお答えになるお気持ちがありながらも、時間の制約があったのが大変残念でした。

23 言語技術の見える化って何なのかがよくわかりませんでした。

28 それぞれの場面の役割を再認識することができました。

29 言語技術は授業技術のことであるという長谷川先生の言葉があったが、これには反対である。言語技術を教師が使う授業技術であると定義するのであれば、本学会の「教育」に合わないのではないか。司会者が質問を受けるだけ受けて、最後、それに対する回答がないというのは、質問した側にとっては、フラストレーションがたまるだけになってしまうのではないか。

30 発問を授業の中で考えていくことはとてもすごいことだと思います。見える化で理由を3つ、2つと数で指定することで文を読み返すことができるのはわかりました。さいこのところの2つの指定で、私は海の底よりきょうだいがたべられての方が強いと思ってしまいました。

31 発問の精選について話題になりました。「言語技術」指導と、「文学教育」の目的との相反する部分かもしれないと感じました。子どもがじっくりと想像を広げることの良さも十分にわかりますし、岩下先生に深い読みの世界につれていってもらうことも価値深いことです。多様な教師にふれることが子供達のキャリアになると思います。

32 発問の精選についてとめあての必要性につ

いての岩下先生の回答が聞けなかったのが残念でした。検討することによって提案された授業の価値を知ることができたのでよかったです。

33 発問の数に驚いた。挿し絵については取り上げて良いと思った。

34 発問の精選は何が大切か→この場面で何を押さえたいかと、根本追求していくことになる学びました。音読、スラスラ早く読むか否か、めあてが必要か否かなどの質問も学びが深まりました。個人的には子どもの段階により場面により両方あり得ると思います。教師主導・めあてなし・スラスラ読む・テンポ→子ども主体・めあてあり・表現を考えながら読む・待つ

35 それぞれの立場でそれぞれ言いたいことを言われたようで、野口先生が直前に求められたそれぞれの発言・思いが絡み合った検討会にならず残念でした。一番重みがあるポイントにしぼっての意見交換があるとよかったです。

36 めあて一ふり返りが必要であるかについての回答を聞きたかった。

38 何を問うか、どう問うか、今日の岩下先生の発問・指示を視写して自分が分類してみようと思いました。情景描写、心情描写という概念が聞いたのがよかったです。

39 各人の提案がよくわかった。中でも勉強になったのは発問の数である。34 はやはり多く、しぼるという考えに賛成である。挿し絵についての考え方については両方の意見が聞けて勉強になった。

40 言語技術の一般化という点で、どの先生にもできるような工夫が必要だと感じた。岩下先生のお力があることでできるレベルの高い授業だった。発問を少なくして、授業を簡略化する方向性を探りたい。教材分析とそれにあった課題の作成がすばらしかった。

## 【授業Ⅱ 説明文「すがたをかえる大豆」の提案授業とその検討】

### (1) 授業Ⅱ (授業者：西山悦子)

1 先生の話し方、質問の仕方がとても分かりやすく、柔らかな話し方だったので、心地良い雰囲気でした。はじめに中1～5をおさえ、そこから工夫に入るのでスムーズな流れでした。名進研さんの3年生がどれほどの実態かは分かりませんが、この授業は徹底的に「教える」という指導方法に見えました。この活動か

らこの先自分たちで表やワークシートにまとめられるようになるとうそい力がつくと感じました。ありがとうございました。

2 段落内容を表にして、子供たちにわかりやすく説明しているのがすばらしい。また、段落とは何かを教える(途中)。

3 適確な発問、そして児童の意見をきく場づくり、ほめことばなど、随所に働きかけがあり、大変勉強になりました。鉛筆の持ち方も言われていました。板書とノート(ワークシート)を一体化させておられるのもよく授業がいき届いていると思いました。(提示の仕方等)

4 語句を一つ一つ大切にしていらっしゃる点、主要語句のみつけ方等、勉強になりました。

5 言語技術が見えなかった。本時で子どもは何を(どんな言語技術を)習得したのか、もしくは活用したのか。以後の説明文の授業がどう変わるのか。主要語句の見抜き方、まとめの段落の見抜き方、それが見えない。主要語句という「語句」は知れた。しかし、その中身(概念)が見えなかった。授業を通して、技術を提案共有して欲しかった。

6 リライト教材で、主要語句の見つけ方の手立てが知りたい。

7 「言語技術教育」とは「言葉遣いの精度を高めることで緻密な思考を～」と冊子にありましたが、今回の授業のどこで緻密な思考、言葉遣いの精度を高めることがあったのでしょうか。音読させる意図(冒頭部分)以外は、よくわかりませんし、何より単調で……。おつかれさまでした。

8 子どもの感想がこの授業の本質をよく表していたと思いました。

9 全体の構成を本文からとらえるための方法を学べました。音読が読解につながり読解が音読で更に深まる授業で、子ども達は楽しく(意欲的)に学習していたと思います。

10 筑波の白石先生の本にあるようなよく分かる方法は、〇〇のくふう、〇〇のくふうでまとめる、そこからさらにこまかくみる方法は初めてでした。私にとっては難しかったです。子どもたちは鍛えられているからですt? 賢くてさらっと主要語句を出しすぎと思いました。主要語句とは何かはそもそも分かりませんでした。指導案通りの答えに対して「すばらしい」「拍手」に嫌悪感、まちがっていた子はおきざりですか?

11 授業の始めは「目標」から、終わりは「本

時の反省」となっており、とてもわかりやすく、見通しのある、児童にもわかりやすい内容で大変勉強になりました。ありがとうございました。すぐに現場で使いたいと思います。

13 読めない子、読むのが苦手な子にとって本時の授業は有効的だと思いました。実際に授業にしたり、いろいろな授業をみましたが、本時で筆者の文章構成や書き方がすっきりみえてきました。

14 授業の終末に子どもの感想を聞いていただいたことで、子どもの学びの成果が子どもの声で聞けたのが良かったです。

15 段落構成の工夫（食品を取り上げた順番）を3年生で取り上げて、自分で説明文を書けるようにするために色々な人の意見を聞き考えさせられました。子どもたちが自発的に説明文の工夫を大発見して自分のものにできるようにしていきたいです。提案授業ありがとうございました。

16 すっきりとした授業でした。子どもの声がかきとりにくかったのが、どのような発言があったのか気になりました。なぜ正解なのか、根拠を示すと不正解・無解答の子が納得できるのではないかと思います。

17 子どもがすばらしすぎて、内容が簡単に授業が単調に見えた。しかし、公立の学校では、このようにすんなり流れないだろうと思うと、また違ったようにうつるはずである。

18 音読のさせ方に疑問が残ります。なぜ読点を無視させたのか、自分は読点を大切に音読をするよう指導しています。読点を打つ位置には作者・筆者の思いが表れるものなので、大切にさせたいです。また、この授業によって果たして子どもに「自分で主要語句を見つける力」が身についた、あるいはその基礎づくりがされたのか、疑問です。自分のクラスで同じ事をしたら大半がついて来られず、クラスが荒れそうです。

19 主要語句の見つけ方を学ぶことができると指導案に書いてあったが、今回の授業では見つけられるようになると思う。（教師の誘導もあったため）、しかし、他の説明文ではしっかり見つけられるか非常に疑問に思った。

20 とにかく西山先生の声がすてき。いくらでも聞いていたい。

21 説明文、読み取りの方法、教室で追試したくなる分かりやすい提案だった。

22 全体音読のスピードと声の合わせ具合に驚

きました。自分でももっと音読を授業に入れてみたいと思いました。それにはスピードが必要と感じました。文章構成と主要語句を音読することでよりその日の授業を振り返ることができると再認識しました。

23 これから扱うので参考になったらいいなと思い見させていただきました。主要語句、私のクラスの子どもたちは探すのに苦労するだろうと思います。そんな公立の子どもたちのことも考えて提案してくださったのが有難かったです。どんな食品になった？と後半きいていたので、それならば子どもたちもできるし、説明文に苦手意識をもつ子も成功体験できるので良いと思いました。

25 他の先生とも授業ができる児童がすごい。音読がものすごく上手。例示し、各自でとりくみ共有する流れがすばらしい。1時間の内容を30分にちぢめて実施できるのはすごい。

26 論理的文章を書く力を育てるための授業であった。主要語句をとらえることは読解する上でも文章を書く上でも有効な言語技術である。

29 指導案「5 指導計画」の表、第4時の「いくつかの課題」にまとめられてしまっているが、これが何なのか重要なのではないか。ここをどう考えているのか、この課題を解決するために第1～3時でどう指導するのか、授業者の考えが書かれるべきだと思います。

30 始めの文を教師が読むことで児童が音読しやすいと思いました。めあてを明確にしていることや、児童の発言を大事にしながら板書しているのがいいと思いました。答えを教師がほとんど教えていたので児童に答えさせるのがいいのではないかと思います。

31 ワークシートの提示の仕方や、( ) の箇所に先生の意図がこめられていることがわかりました。「主要語句」を見つけ表にまとめることで、どんなよさがあるのか、ということの子供に考えさせたいと感じました。「深い学び」を実現する上で技術や学びに対する「価値の自覚」がキーワードだと考えております。

32 子どもの活動を一つ一つ丁寧にほめている場面が多いことがとても印象的でした。主要語句という言葉の定義がわかりにくいように感じました。ワークシートを使い、1つの表にまとめていく活動は学習内容を視覚的に整理することができるので、児童にとっては効果的だと思いました。

33 音読のスピードが速く、そのスピードにつ

いていける子ども達に驚いた。同じ所を何度も読むことで、少しずつ理解が深まると感じた。主要語句は、表（ワークシート）にして、1つ目のやり方を一緒にやってみることで、子ども達も読み解き方が身についてくると感じた。

34 主要語句を書き出すことで、説明文の内容がシンプルに分かりやすくなり参考になりました。①②段落の「大豆」という主要語句が中の③～⑦の枝豆・とうふ…などと並列にならないので、中だけでもよいのではないかと思いました。

36 「主要語句」という言葉ではなく、何について書かれている段落かと問うた方がよいのではないかと思った。

38 主要語句という概念を教えるのはよいと思いました。まとめの段階で主要語句をさがすのが難しい感じがしました。みそ、しょうゆ…いろいろなすがた。主要語句というくくりでよいのか。

39 こちらもすばらしい授業だった。提案性のある授業だった。

40 児童が素直で学習に対する意欲も高く、楽しそうに学習していた。提案した4つの指導事項（言語技術）をすべて見せようとしたため、内容が盛りだくさんになってしまったが、子供たちの能力が高く、45分の授業を30分で行うことができた。提案ができてよかった。

## （2） 提案授業の検討

（司会：市毛勝雄、授業者：西山悦子、登壇者：大内善一、富樫忠浩、國府田祐子）

1 提案ではありませんが、音読しているときに「やめ」と切ってしまうのは少し悲しいと感じました。やる気のある子どもたちだと思うので、「ここまで呼んでみましょう」の方が良いのでは…？と思いました。この授業の中で、子どもたちはどこで葛藤し、試行錯誤するのだろうと思いました。スムーズな流れではあるのですが、思考力は付いているのか少し疑問に思いました。

8 対立意見があり、議論がたいへんおもしろかったです。

9 一斉読み、主要語句が論理的思考を深める鍵となることを学びました。

10 大内先生のお話に納得。富樫先生も的確。子どもの授業感想が、この授業を表していたとおっしゃっていましたが、先生の喜びそうな感想を言っていた様に感じて仕方なかったです。

すみません、正直いやらしさを感じました。正直な感想です。

11 現場の状態と大内会長（+富樫先生）の把握や考えが大きく違っていると感じた。小3の段階で文章構成の理解にはこのぐらいわかりやすい内容の方が良い。色をかえての板書→賛成。國府田先生の意見に大賛成です!! ○○先生という言葉がとても気になりました。富樫先生は私立のような研究や論理ばかりのような話し方をするのでとても残念です。

13 時間の関係もありますが、では「どうすればよいか」をもっと話し合いたかったです。本学会の良さがわかるのではないかと思いました。

16 様々なご意見が聞けてよかったです。質問にすぐ答えていただけてわかりやすかったです。

17 登壇者の言語技術に対する考えが偏っている。西山先生は今回の授業で「構成を意識させたい」と言っていた。構成は言語技術であり、主要語句だのなんだのは、指導言としての適切さであるかと思う。今回の趣旨を考えるならば、構成についての考え方について議論が深まるべきだと考える。「なか」はひとくりの「なか」でよかったのか？

18 大内先生のお話がとても自分の中でピタッときました。私の質問に対し「まちがえた子にどうしてそこを選んだかを説明させても答えられない」と言われましたが、反対に正解した子にどうしてそこを選んだかを言わせればよかったのではないのでしょうか。まちがえた子が次の機会に正解できるための手がかりをきちんと与えてあげないと、子どもの心は傷つくばかりです。反復することで向上するために欠かせない何か、今回の授業には見られなかったと思っています。

19 わからない児童にも何度もやっていくとわかるようになるとおっしゃっていましたが、やはり自分が間違っていると突きつけられるのは児童にとってはつらいと思うし、理解しきれない部分もあると思う。その点についてももう少し話を聞きたかった。

20 正解…正解…、と続くので、もっと葛藤する時間があってもいいのではないか。ただ、大内先生の「誘導」はたしかにそうだと思うが、そういう授業に陥りがちなのは事実。それを脱却するにはどうしたらいいのか？ やはり教材研究なのか？

21 授業でのどこを見て、どのように考えるのか、登壇者の発言により授業の見方を学ぶことができた。フロアからの質問・意見によりさらに深めさせることができ、とてもよかった。

22 「この会っておもしろい」と思いました。授業者に対しての考えをストレートに表現させる登壇者の先生方にハラハラドキドキしておりました。正直申し上げて「国語を教えることは怖いな…」です。司会者の方の挙手を促したところで、会場が明るく笑いが生まれ、こちらもホッとしました。

25 「論理的文章は書くために読む」、とてもスカッとするお話でした。論理的文章をかく前に、論理的に話す力がついていません。この授業が繰り返し、そして深められるなら力もついてくるのではないのでしょうか。公開処刑する学会かと思いました。30分という限られた時間にはじめてあう児童と授業をしている。。そこまでの設定(授業案)を否定されたら、話にならない気がしました。色々な意見と批判はちがいませんか。

28 2つの相反する意見が出ました。どちらかというと、否定的立場ですが、肯定する立場の登壇者の方のお話にも説得力があり、子どもの学びを発見されているところは見方(子どもや授業)の力をつけることの大切さを学びました。

30 さまざまな意見がとびかいました。どれもとても考えさせられることなのですが、とても批判的なことが多く少し見ていて残念でした。さいごの手を挙げるのも、指導者を評価するように公開処刑のようだったので、やらない方がいいと感じました。

31 「主要語句」の定義について議論になりました。「学習用語」指導の価値は、他分野・他教材への「転移」にあると思います。本時の児童の感想にあった学びが「本質的な学び」だったのか、「目先の変化による学び」だったのかを見極める必要があると思います。不易と流行にもつながる話題と思いました。

32 検討会で意見がちょうど半分に見事にわかる提案だったので、提案授業としてはすばらしかったです。

33 賛成と反対で意見が2つに分かれ、おもしろいなと思った。

34 「主要語句」という学習用語がめあてにも書かれ、最初から授業に課題、ハードルが高くなりました。さいごに伝えれば良かったのでは…と思いました。

35 議論が活発で提案された先生に感謝です。市毛先生の司会技術も勉強になりました。

40 会場で話せなかったことについて。①リライト教材の活用について。リライト教材では、一段落一事項の主要語句で文章を作成する。15分程度で、大切な指導事項(言語技術)効率的に学ばせることができる。本文の範読、語句解説、音読練習、一斉音読、主要語句探し、文章構成表の音読、全文一斉音読という授業展開をする。②どの教材も4時間で指導事項を学ばせる授業ができる。時間がとれる場合は、そのほかの時間をその教材だからこそできる読みを行ったり、同じ文章構成を使ってテーマを決めて文章を書く指導ができる。③今日の授業が、次の授業にどう貢献するのかという質問について。…次の論理的文章を読むときに活用できる。はじめ、なか、まとめの段落の役割がわかってくれば、次の文章では、自然に段落の役割を考えながら読めるようになる。また、各段落の主要語句をまとめる学習活動は、書くときの主要語句を考えるとときに生かせる。④「公立の小学校でも実践できるか」という質問について…児童が喜んで取り組むので、是非一度指導案通りにやってみてほしい。上位中位クラスの児童はもちろん、日頃、遅れがちな児童も生き生きと取り組んでいる。音読を何度も繰り返すことがポイントである。⑤第4時の授業展開について。「なか」の表現の工夫を読み取る。「とうふ」の作り方の手順を箇条書きで書き出す。内容の正誤を問う課題を教師が用意して、○×で答える。小論文を書く。などが考えられる。

### 【授業Ⅲ 伝統的な言語文化「短歌に親しもう」の提案授業とその検討】

#### (1) 授業Ⅲ(授業者:増田泉)

4 自分自身、短歌の授業をどう展開すればよいかいつも迷い迷いでしたのでとても勉強になりました。

5 前半の2つの短歌は色と対比を変化のある繰り返しで扱っていた。言語技術が見えた。しかし、「ゆうぐれ〜」「晴れ〜」は見えにくかった。ジャージーも発問の中から言語技術が見えにくかった。

6 一首を深く考えさせる授業でもよい。

7 子どもとの関わり方が良かった。一つ一つの発問が考えさせるもので良かった。が、やは

り、「楽しむ」とはいえ、6つはさすがに多いとおもいました。あと、ところどころでもよいが、ゆさぶって考え話し合い検討する山が一つぐらいあってもよいかなと思いました。

8 6首の短歌を扱ってすばらしい授業でした。子どもたちとのやりとりがとても楽しくて見ていたこちらも楽しくなりました。

9 初めての短歌、出会いとしての授業でも音読で心の中にスッと入っていくのだと思いました。現代語訳が添えられていて、内容を感じとりやすく、児童にとって心地よい学習だと思いました。次の学習へのつながりを感じました。

10 30分で6つも取り上げてまねしたいと思いました。せいぜい2つか3つで終わってしまいます。たった30分の中で、何度も音読をしさらにそれぞれに発問もあり、でも、忙しい感じがなく、それぞれの情景も頭に浮かんでいて（子どもたちはみな浮かんだはず）すごいなと思いました。しかも、自分の好きなものも選んだ。45分なら自分もまねできそうです。追試します。

11 各首のポイントをおさえ、音読を前後にはさむというリズムのよい授業で大変参考になりました。ありがとうございました。

13 30分間という短い時間の中で、6首の短歌を取り上げたことや、一首に対して吟味した一つの発問がよかったです。

14 国語の授業というと、文学か説明文のいずれかの授業提案が多く見られるが今回のように伝統的な言語文化の授業提案は、これからより研究されていくべき分野だと思いました。しばらく続けて模擬授業の中に入れてほしいと思いました。

16 テンポがよく声かけもあったので楽しめました。

17 短い時間の中で、6首も出来たことはすごいと思っている。しかし、テーマに一貫性がなく、6首を使用する必要性が見出せない。

18 短歌や俳句の授業の仕方はよく悩むので、とても参考になりました。色や前後関係を問うことで、子どもに考えさせる方法はぜひ取り入れていきたいと思います。ただ、親しむ、味わうというところまで到達するにはもう少し一首ごとに時間がいるのかなと思いました。

19 情景描写をわかりやすくとらえていたのが、よかったと思う。また、何度も音読することによってリズムのおもしろさをしっかり、子どもが感じていたと思う。後半、2つの短歌も

もう少しふれていくと面白いと思う。

20 適度に輸送を裏切る先生のしかけに楽しく授業をうける子どもたちが見られた。短歌以外の授業が見たい。

21 リズム、テンポのある授業、発問が参考になった。教室でぜひ実践してみたい。

22 「広く使われている色は？」の発問に学びました。また机間指導のときの声かけを学びました。発問シンプルで答えやすいです。また相談も3秒、6秒と大変短くメリハリがありました。『クラスの中で一人って選べるクラスはすばらしい』居場所のあることばかけだと感じました。

23 文字で書かれたものを情景として思い浮かべるように発問されていたのが素晴らしいです。難しい発問ではなかったので、短歌に親しみがもてたと思います。

25 音読が上手。とびいりで授業できるのがすごい。声のトーンをかえてまちがった答えの子をサポートしていた。色のとき、様々な子どもの感性を受け入れていた。ホワイトボードら字をかくところもスピードをかえて、段々速く昔の読みや字あまりにふれず、楽しむ親しむことから集中していた。色々なところで、声かけで児童をサポートされていてすごい。

26 授業者の話しぶりにテンポと間があった。学習者との間合いがあった。

27 大変よく考えられ、しかけの多い授業でした。勉強になりました。

30 児童の発言に対し問い返すことで児童のイメージをふくらませていてとてもいいと思いました。細やかなフォローが多く、児童が挙手や発言がしやすそうだと思いました。短歌を言葉ではなく色でイメージさせるのが見ている私も一緒に考えてしまい、とても楽しく感じました。

31 伝統的国語文化にふれ親しみをもって子供達が詠んでいました。六首を何度も詠む「多読」を飽きさせず、変化をつけながら実現されていました。焦点を絞った作品解釈もはさみ最後は意志決定をしていました。子供達の表情から充実した30分だったことがわかりました。

32 多読していたところがよかったです。指導案に書いてあった区切りについては、やはり指導すべきだったと思います。短歌はやはりリズムが大切だと思うからです。

33 短歌の授業で色をイメージした事はなかったですが、文字を頭の中で映像にするにはイメージしやすいと感じた。五・七・五・七・七が



短歌という授業だったが、字余りの詩もいくつかあり、そこには触れられていなかったのが、疑問を持つ子もいるのかな？と感じた。自分自身、中学の時に、サラダ記念日の短歌を学び、少し身近なものに感じた覚えがあるので、どの短歌を最初に提示するかも重要だと感じた。

34 一つ一つの短歌をくわしく扱い、イメージ化させるような授業展開がよいと思いました。落ち着き、時にユーモアのある増田先生の姿勢は素晴らしいです。

35 「色」をイメージさせるなど、素材をどんな切り口から迫るかで素材の生かし方がかわってくるのがわかった。「色」という視点はおもしろい。

36 テンポよく進み子供たちもひきこまれている良い授業でした。

38 最後に好きな句を問うてました。その理由まで聞きたかったです。(表現技法、今回の学習で学んだことが理由としてあがったのか。)問うたことで理由を考えたはずだから、そこまで聞きたかった。

39 すばらしい授業だった。

40 音読を2回ずつ繰り返しているうちに、情景が目に見えてきた。テンポがよく、楽しく学習できていた。一首に一つの課題を用意することで、一首ごとの短歌の味わい方の違いがわかった。口語訳があったことで、古典との距離感が縮まった。

## (2) 提案授業の検討

(司会：野口芳宏、授業者：増田泉、登壇者：篠原京子、富樫いずみ、渡邊洋子)

9 1つの短歌で1つの課題。4年生にリズム感を感じとらせ、短歌を楽しむ目標に到達した点。6首を30分で学習した授業。短歌に興味を持った点、学ぶことができました。

10 なぜ6つ扱ったか。なぜ発問を絞ったか。なぜこの順にしたか。先生の意図が分かりました。すごい！！検討Ⅲ、あつという間でした。一番充実していた検討でした。野口先生の助言に納得。ゆく秋の～についていくつかの発問提示がありました。自分も時間を聞くと考えました。

11 指導者の増田先生が本時の目標をよく理解し、児童の様子を把握した上で、指導案の一部(句切れ、表現技法)を諦めたことで、子供たちが短歌のリズムに集中して親しむことが達成されたと思いました。指導案を実態に合わせて

時には捨てること、目標を絞ることを学びました。

13 野口先生の言葉にいろいろ立ち止まって考えさせられました。ありがとうございました。

16 とてもわかりやすいお話でした。

17 現代語訳はつけた方がよい。ただ、本文と照らし合わせて読む指導が必要。サッカーの話 最後にしていたが、その時にも本文と照らし合わせる指導を行っていないことが問題。

18 野口先生の仕切りが楽しかったです。「教育とは放っておかないこと」、心に響きました。私はよく放ってあきらめているからです。授業の導入時、子供との関わり方の工夫、感嘆しました。否定がない、重く受け止めたいと思います。

19 様々な視点で議論されていてわかりやすかった。現代語訳について、話があったが、私もあった方がいいと思う。児童も理解しおもしろいと感じると思う。

20 イメージから体験へ、教材配列の仕方が巧みで引き込まれた。ちゃんと子供たちの意見がひろわれていた。よさ→指摘に入る司会、学びました。

21 登壇者の質問、授業者の回答、互いの意見がかみ合い、話し合いが刺激的だった。授業検討・分科会の進め方の参考になった。

22 研究授業後の検討会を大変興味深く見させて頂きました。授業者は本当に「これがしたい」という強い気持ちがあって授業を組み立てるのだと感じました。

25 司会者の先生がとても楽しい方でまたお会いしたいです。

28 提案者の授業に対する目標・意図が明確であった。野口先生の「まちがいを教えてやる」のが授業、これからの見直しになります。

30 司会者がとても面白いと思いました。指導者の方が授業の流れや何をやりたいか、重要視しているところが指導者の中で明確であることを知り、すごいと思いました。司会者の話の流れもスムーズで、ですが、論理的な考えが多く入っていて勉強になりました。

31 「教育と発達とはちがう」、私の中に重たい問いが生まれました。「深い学びとは何か」と、最近自問しております。その糸口を探す糸口にしたいものです。

32 野口先生の司会を初めて見ることで感動でした。会を司る、この言葉をしっかりと心にとめ、校内研修会の司会に生かしたいです。

34 野口先生の〇×、白黒ははっきりつける司会進行で、みんな意見を言いたくなる〇〇（不明）をつけられました。

38 授業者の先生の主張が明確でよかったです。その主張が出てきたタイミングに必然性を感じました。（参加者が知りたいと思ったタイミングで）野口先生の司会のおかげです。

39 野口先生の司会のしかたはわかりにくかった。登壇者一人に当て、それについて一つずつ司会のコメントが入り、念頭で自分の考えをまとめにくかった。（いつものことですが、司会者が自分の意見を喋りすぎである）もっと指導者の先生の意見・意図を聞きたかった。（なぜ、壇上から降りたのかと思う。見づらくなってしまった。）

40 増田先生の授業内の細かい配慮について、説明できる機会となってよかった。数多くの短歌を音読し親しみを持ちながら、一首ずつ内容を理解しながらよむという今回の提案はよかった。4年生の児童が飽きずに学習できるやり方だと思った。野口先生の司会は楽しかったが、授業者や登壇者の意見がもう少し聞けるとよかった。

#### 【IV 日程・会場。運営について】

3 駅近くで案内して頂き助かりました。

5 授業Ⅰ、発問・指示・子どもの発言が聞こえない。なぜ、この会場のマイクを使わないのか理解できない。授業者が「会場後ろ、聞こえますか？」と言っていた。岩下先生の発問・指示・間・息づかいを楽しみにしていただけに、大変残念だった。指導案で言語技術は見たが、聞こえなかった。授業者が少し離れた場所から（前方、子どもの方を見てうなずく担任？）子どもの気が散る。真剣勝負だから子どもの視線に入ってはならないと考える。

7 お忙しい中、設営・準備等、大変だったと思います。たくさんの学びをさせていただきました。何より、自分自身より、たくさん経験を積まれている先生方が、まだ腕を磨こうとしている姿がとてもよい刺激を受けました。ありがとうございました。

8 駅から少し距離がありましたが、珍しいユトリートバスに乗ることができ、良かったです。

10 ちょうどよい。

11 アクセスについて、車の駐車場について明

記がなかったので、電車のみなら電車のみと書いて下さるとありがたいです。会場がとてもキレイで感動しました。児童の教室が少し汚くて（掲示物等）気になりました。

13 すばらしい環境の中で学会ができました。快適に過ごすことができました。ありがとうございました。

14 名進研小学校は非常に設備は整っていると思いました。しかし、若干、交通の便がよくなかったです。交通の便も考えて会場をきめて頂けるとありがたいです。

15 たくさんのスタッフや先生、子どもたちの協力のもと、会が行われたことと感謝申し上げます。会場設営、ありがとうございました。

16 広い会場ですが、看板のおかげで迷わずにすみしました。スリッパも用意して頂きありがとうございました。

17 特にありません。ありがとうございました。  
18 初めて名進研小学校へ参りました。バスを降りてから会場まで思ったより時間がかかって焦りました。案内の7分は性格ではないと思います。会場から体育館ということで仕方ない面もありますが、先生方（授業者）の声がもう少しハッキリ聞こえとうれしかったです。

19 良かったです。

20 よいです。

21 子どもたちを相手に授業を見ることができよかったです。すばらしい学校の施設・環境だった。

22 大変良かった。

23 バスの駅を出たところから案内していただき、ありがとうございました。とても助かりました。音読のワークショップはもう少し深く聞きたかったです。

25 名進研小学校は設備の整ったすてきな学校ですね。

26 冷房のきいた体育館はすずしくて良かったです。但し、前回までの大学の教室は机があったので、メモが書きやすいという利点があった。

29 休憩時間があった感じがしました。もっと議論をする時間が増やせるのと思いました。

31 大変によい運営でした。

32 児童の様子がわかりやすいようにステージの上で授業していただくと参観しやすいうる感じました。

33 白沢溪谷駅から会場までが少し迷子になったので、詳しい地図か、途中の表示があると有難かった。体育館での授業でも子どもが落ち着

いて過ごしていて、こちらとしても移動の必要がなく、良かった。

34 ありがとうございます。

35 すばらしい会場でした。

36 良いと思います。

37 マイクを使用して授業して欲しい。(岩下先生)

38 夏の学びが加速しました。ありがとうございます。会場校の教職員の方々、事務局の方々ありがとうございます。とても素敵な学校で快適に会にさんかすることができました。

39 エアコンの効く体育館で快適だった。子どもたちを人前に(大人たちの前で)出すことについて担任の先生方のご苦勞も大きかったと思う。大盛況でありありがとうございました。

40 大変素晴らしい学校をお借りできてよかった。人数も150名を超えて、多くの先生方と言語技術について考えることができてよかった。受付もスムーズに進められてよかった。準備をしてくださった先生方に感謝したい。

**【V この大会をどこで知りましたか。該当する箇所に○を付けて下さい。(複数回答・可)**

- |   |          |    |    |    |    |  |
|---|----------|----|----|----|----|--|
| 1 | 学会事務局通信  | 8  | 14 | 26 | 39 | 40   |
| 2 | 案内やチラシ   | 4  | 21 | 27 | 29 | 35 37  |
| 3 | 雑誌や新聞の広告 | 6  | 9  | 36 |    |  |
| 4 | 地人の紹介    | 19 | 25 | 30 | 31 | 33   |
| 5 | インターネット  | 3  | 5  | 7  | 10 | 11 12<br>15 16 17 18 20<br>23 24 26 32 34<br>36 38 |
| 6 | その他      | 2  | 22 | 25 |    |  |

**【VI その他】**

2 名進研小学校1年 3年の○○、○○の母です。日々、学校ですばらしいご指導をいただいております。家庭での参考にしたいと、また親ももう一度、日本語のすばらしさを確認しました。ありがとうございました。学校と家庭

の方針を一貫させるためでもあります。

3 良い勉強になりました。ありがとうございました。

9 音読で授業が変わる。教師が替わる。子どもが変わると感じました。

11 提案して下さった先生方、司会の仕方で大変参考になった市毛先生、野口先生など、関わった先生方にお礼を申し上げます。言語はとても深いもの、満足せず常に学び続けていきたいと改めて思い直しました。ありがとうございました。

12 ありがとうございました。

17 言語技術について認識の甘い人が多い。そのため、質問内容も技術的な側面がうすく、散らばっていた印象である。文学教育、言語技術教育、そして、それを支える指導言など、しっかり分けられるといいと思う。

18 初めて参加させて頂きましたが、納得いくこともあり、違うと思うこともあり、その分売りの多い時間となりました。ありがとうございました。

22 大変学びの多いものとなりました。会の入り口でグローバルスタンダードについての話がありました。私は初任者の枠(4年目)です。授業の方法・技術のむ統一規格化について疑問が湧くのは理解できます。しかし、少経験者にはスタンダードが大変頼りになります。それがないと、児童達が大変損をします。この職業は経験が命です。重ねて行けば、自分流の工夫が加えられます。スタンダードは、あればありがたいと思います。

23 子どもたちの一生けん命な姿に驚き、感動しました。大勢の大人が見ている中であれだけ堂々と手を挙げて発言できるのはすばらしいと思います。普段からのご指導が今日にいかされているのだなと思いました。

24 午後の検討会が多種の意見が出てべんきょうになりました。

25 事務局のみなさんお疲れ様でした。準備や会場設営が参加者が困らないよう配慮されていてすてきでした。

27 野口先生の教育に対する考え方、力をつける役割を担うのは教師である我々であるという言葉が大変心に残りました。休業中にさらに研鑽を積みたいと肝に銘じました。ありがとうございました。

30 とても勉強になりました。ありがとうございました。

37 どの授業もテンポ良かったです。ワークショップの3人の先生の話をもっと長く聞きたかったです。授業の中での先生方の否定がなかったのに、違和感がありました。野口先生の講座（司会）にスカッとしました。

38 柳谷先生、岩下先生、野口先生の音読指導、語りの話をもっと聞きたかったです。

40 今回は、授業者としての初めての参加でした。大変貴重な機会をいただきました。これから、また、研究を継続していきたいと思います。いろいろとありがとうございました。